

令和4年度4月入学

大学院人間文化総合科学研究科（博士前期課程）入学試験問題

【一 般 選 抜】

言語文化学専攻
ヨーロッパ・アメリカ言語文化学コース

〔専門科目〕

試験日：令和3年9月1日（水）

注 意

1. 問題は、Ⅰ（「英語学・言語学」）、Ⅱ（「イギリス言語文化学・アメリカ言語文化学」）、Ⅲ（「ドイツ言語文化学」）、Ⅳ（「フランス言語文化学」）の4つの領域からなる。いずれか1つの領域のみを選択して解答すること。
2. 解答に際しては別添の解答用紙（9枚同封）を用い、解答用紙の問題番号欄に問題番号を明記して、問題ごとに別々の解答用紙を用いること。なお、使用する解答用紙のすべてに受験番号、氏名を記入すること。
3. 総ページ数 — 19ページ

英語学・言語学分野

（問題Ⅰ-i～Ⅰ-iv） — 3～7ページ

イギリス言語文化学・アメリカ言語文化学分野

（問題Ⅱ-i～Ⅱ-iv） — 8～14ページ

ドイツ言語文化学分野

（問題Ⅲ-i～Ⅲ-iii） — 16～17ページ

フランス言語文化学分野

（問題Ⅳ-i～Ⅳ-iii） — 18～19ページ

4. 試験終了後、この冊子は持ち帰ること。

英語学・言語学分野

I-i

次の項目から 4 つ選び、具体例を挙げて英語で簡潔に説明しなさい。

- (1) nasal
- (2) allomorph
- (3) agreement
- (4) modal auxiliary
- (5) present perfect continuous
- (6) type vs. token
- (7) information packaging construction
- (8) metaphor
- (9) pre-sequence
- (10) face-threatening act

I-ii

次の英文を読んで、下線部を日本語に訳しなさい。

問題文は、著作権の関係で掲載しておりません。

(Widdowson, H. G. 2007. *Discourse Analysis*.)

I-iii

次の(1)～(4)の例文からどのようなことが言えるか、気づいたことを日本語で述べなさい。

(「*」は容認されないこと (あるいは不自然であること) を示す。)

- (1) a. The same mistake was made by Ed.
b. The identical mistake was made by Ed.

- (2) a. *A same mistake was made by Ed.
b. An identical mistake was made by Ed.

- (3) a. The two copies are the same.
b. The two copies are identical.

- (4) a. She treats them all the same.
b. She treats them all identically.

I-iv

次の英文は英語学のハンドブックからの抜粋である。この文章を読んで、後の問いに答えなさい。

問題文は、著作権の関係で掲載しておりません。

問題文は、著作権の関係で掲載しておりません。

(Aarts, B., J. Bowie and G. Popova (eds.) 2020. *The Oxford Handbook of English Grammar*.)

問

- (1) 下線部(a)の内容を、本文中の例に言及しながら日本語で説明しなさい。
- (2) 下線部(b)を日本語に直しなさい。
- (3) 下線部(c)の具体的な内容を、本文に即して日本語で説明しなさい。
- (4) 下線部(d)の具体的な内容を、本文中の例に言及しながら日本語で説明しなさい。
- (5) 下線部(e)を日本語に直しなさい。

イギリス言語文化学・アメリカ言語文化学分野

II-i 各群の a, b の中から一つを選んで簡潔に説明しなさい。
(英語で解答してもかまいません。)

- 1) a. Christopher Marlowe
b. Alexander Pope

- 2) a. Henry Fielding
b. Matthew Gregory Lewis

- 3) a. Walter Scott
b. Jane Austen

- 4) a. *Lord Jim*
b. *The Rainbow*

- 5) a. the stream of consciousness
b. intertextuality

II-ii 各群の a, b の中から一つを選んで簡潔に説明しなさい。
(英語で解答してもかまいません。)

- 1) a. *Beloved*
b. *Moby-Dick*

- 2) a. Jay Gatsby
b. Silas Lapham

- 3) a. Edgar Allan Poe
b. Raymond Carver

- 4) a. tall tale
b. metafiction

- 5) a. Ralph Waldo Emerson
b. Benjamin Franklin

II-iii 次の文を読んで、設問に答えなさい。

問題文は、著作権の関係で掲載しておりません。

問題文は、著作権の関係で掲載しておりません。

出典 “Can Reading Make You Happier? By Ceridwen Dovey *The New Yorker*, June 9, 2015

設問

1. 下線部（1）で筆者がこう述べるのはなぜか、本文に即して説明しなさい。
2. 下線部（2）の具体的な内容を説明し、筆者がそう考える理由を説明しなさい。
3. 下線部（3）を和訳しなさい。
4. 下線部（4）を和訳しなさい。
5. 下線部（5）を和訳しなさい。

II-iv 次の英文を読んで設問に答えなさい。

問題文は、著作権の関係で掲載しておりません。

問題文は、著作権の関係で掲載しておりません。

(Jonathan Bate, *English Literature: A Very Short Introduction*. OUP, 2010)

設問

1. 下線部（1）について、本文中で触れられていない具体例を英米文学作品からひとつ挙げ、簡潔に説明しなさい。（英語で解答してもよい）
2. 下線部（2）を和訳しなさい。
3. 下線部（3）を和訳しなさい。
4. 下線部（4）で著者が言わんとしていることを、本文に即して日本語で簡潔に説明しなさい。
5. 下線部（5）を和訳しなさい。

ドイツ言語文化学分野

Ⅲ-i

次の文章は、ゴットフリート・ケラー『猫のシュピーゲルくん』の一節である。以下の設問に答えなさい。なお、この猫は牡猫である。

問題文は、著作権の関係で掲載していません。

(Gottfried Keller: Spiegel, das Kätzchen)

*Gebierterin : 命令者、主人 (飼い主の女性のこと)

*burschikos : 放縦な、気楽、気ままな

- 問1 下線部①を和訳しなさい。
- 問2 下線部②を和訳しなさい。
- 問3 下線部③を和訳しなさい。
- 問4 下線部④を和訳しなさい。
- 問5 下線部⑤を、ob を省略した形に書き換えなさい。

III-i

次の文章を読み、3つの下線部を日本語に訳しなさい。

問題文は、著作権の関係で掲載しておりません。

(Nach: H. Wurm. Goethe und das Geld)

III-iii

次の文章をドイツ語に訳しなさい。

- 問1 彼女は今日、とても体調が良いので、夕方にあの有名なピアニストのコンサートに行くことを楽しみにしている。
- 問2 リルケは十九世紀の後半にプラハで生まれました。彼の詩はとても有名なので、あなたもそれを読んだことがあるかもしれません。

フランス言語文化学分野

IV-i 次の Dominique Simonnet と Mona Ozouf の対談の一部を読み、設問に答えなさい。

問題文は、著作権の関係で掲載しておりません。

(Dominique Simonnet, Jean Courtin, Paul Veyne, Jacques le Goff, Jacques Solé, Mona Ozouf, Alain Corbin, Anne-Marie Sohn, Pascal Bruckner et Alice Ferney, *La plus belle histoire de l'amour*, Editions du Seuil, 2003, p.103 より)

設問

- (1) 下線部①②を和訳しなさい。
- (2) Louis-Sébastien Mercier, *Tableau de Paris*, Balzac, *Le Lys dans la vallée*, Stendhal のうちから3つを選択し、それぞれ200字程度の日本語で説明しなさい。

IV-ii 次の文章を全文和訳しなさい。

問題文は、著作権の関係で掲載しておりません。

(https://www.francetvinfo.fr/monde/japon/japon-la-passion-pour-les-mascottes_4712403.html より。

作問にあたり一部改変)

IV- iii 次の日本語の文をフランス語に訳しなさい。

隠し事をしているとき、ひとはどのような態度に出るだろうか？隠していることが明るみにならないように平静を装って、あげくに言わなくてもよいことを言ってしまったたり、隠していることへの罪悪感でいっぱいになった結果、普段よりずっと落ち着きをなくすこともあるかもしれない。